

病院長への手紙に対する回答(R7.6.30回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
9900	がん拠点病院として職務を推進し研究をされている先生方をはじめ職員の方々に感謝いたします。 入院患者に抗がん剤の点滴注射を担当医師が刺さなければならないのは、医師にとっても看護師にとっても不幸だと思う。 今回、担当医師は注射針を刺すのに2度も失敗した。 経験豊富で技術に精通した看護師であれば1回で済み、拠点病院に治療と研究のために入った医師の負担が軽くなり、患者に還元される。 病院の決まり事は簡単には変えられないと思うが、ご一考いただきたい。	この度は、点滴注射について不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。頂いたご意見は、病院全体で共有し、今後のより良い診療の参考とさせていただきます。
9901	入院中の食事メニューの中で、「蒸し鶏和風ソースかけ」は食欲がでにくかった。「焼肉」や「魚の照焼き」のように、ご飯を食べやすいメニューにしていきたい。	お手紙頂きありがとうございます。入院中の方々の喫食量が少しでも増やせるよう、献立に注力していきたいと考えています。いただきましたご意見を部内で共有して話し合わせていただきます。
9902	職員(看護師)の対応が非常に悪く、職員への心使いは退院の時と思っていたが、前もってしないとダメなのか。	この度は不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。 患者さんひとりひとりに寄り添った対応が出来るよう、今後も努めてまいります。何かありましたら病棟師長にお声掛けください。 また、地方独立行政法人埼玉県立病院機構職員倫理規程により、患者様やご家族の方などから、お心付けなどを受け取ることが禁じられておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。